

石崎川沿いの川岸の道路はプロムナードとして整備中で、敷島橋のたもとには桜の木が植えられた。「敷島」とは桜にちなんだ有名な本居宣長の和歌の冒頭の句で、橋の名は桜にちなんで名付けられたものであるが、この場合の桜とはかつて近くにあった桜川である。横浜絵巻などで見られる幕末から明治期の石崎橋は、現在の敷島橋の位置にあったといわれている。



—すぼつと西・47—

区版

広報よこはま

昭和62年4月

区の人口.....79,011

世帯数.....30,109

(昭和62年2月1日現在)

西区役所・区民相談室 西区中央1-5-10 〒220

行方不明の高齢化社会のために

西区民会議で生きがい・健康を討論

現在、急速に押し寄せつつある高齢化の波……これにどのように対応していくかは、社会全体の課題となっております。昨年十月に発足した第七期西区民会議でも「活力ある高齢化社会に向けて」生きがい・健康を考える一テーマに、二月二十一日(土)午後二時から西区総合庁舎議室で第二回定例会を開催、九十七人の参加者があり二つの分會に分かれ熱心な話し合いが行なわれました。

高齢化は社会全体の問題

困連によると、六十五歳以上の人口の総人口に占める割合が七%を超える社会を高齢化社会と呼んでいます。横浜市でこの水準を超えたのは昭和五十九年末ですが、西区では昭和四十年代末にすでにこの水準に達しています。現在の西区は、高齢化率二二・四%、ひとり暮らし老人世帯は七百世帯などおかつ寝たきり老人の数も多いという状態で、この傾向は今後とも続くものと思われる。



▲今回は2つの分會に分かれ熱心な話し合いが行なわれました。

高齢化が進むということは、単に高齢者が増え高齢者の福祉、保健医療に問題が生じるということだけでなく、世代間の人口バランスの変化による家族・地域社会機能の変化や所得再分配の問題をはじめ都市施設の問題など、全ての世代の市民に影響が及ぶものと思われまふ。まさに、高齢化の問題はみんなで考えなくてはならない問題といえるでしょう。

西区民会議でも、これらのこと

近代水道の恩人パーマーの像が野毛山に

4月30日に除幕式

パーマーは、イギリス王室陸軍工兵隊所属の軍人で、士官学校時代に陸地測量・軍事土木の教育を受け、明治十六年(一八八三年)に三度目の来日しました。当時の横浜は、急速な発展とともに人口も増加していましたが、市域の大半が埋め立て地ではどどの井戸水は飲むことに適さず深刻な水不足を生じていました。そこで当時の沖村奈川県令は、パーマーを招き、相模川から横浜まで約四十

横浜の港づくりにも功績

四キロメートル間を鉄管を使い圧力をかけて水を引き、ろ過して蛇口から給水するという近代水道を計画し、明治十八年(一八八五年)に建設に着手しました。この工事は、パーマーを補佐し、工事の遂行にあたった三田善太郎、山崎次郎、土田鉄雄等優秀な日本人技術者たちの努力もあり、明治二十年に市街への給水が開始されました。現在の野毛山公園の配水池は、このとき日本で最

健やかに老いるために

中年層市民(四十五〜五十九歳)を対象に行なった調査によると、半数以上の人が老後の健康に不安を持っています。健やかに老いるために

- ◇健康は自己管理しかないと思えます。仕事以外に熱中出来るものを持つことが必要で、これがストレスの解消にもなるのではないかと。
- ◇健康についての情報や知識が溢れているので、それをどう実践し、継続させるかが重要だと思います。
- ◇仕事をもち、外に出て交流をす
- ◇高齢者が活力のある日々を過ごすためには退職後も今までの知識や経験を若い人達に伝えるなど
- ◇高齢者として自立性を持つことが大切で、若いものに負けないという意気込みが必要なのは、お年寄りや障害者が若者と交流できるような公共の施設を増やしていただきたいと思えます。
- ◇機能年齢に応じた仕事を見つけていくことが生きがいに繋がっていくように思えます。
- ◇若い時から若い人との交流の素地をつくっておくべきです。

- ◇健康は自己管理しかないと思えます。仕事以外に熱中出来るものを持つことが必要で、これがストレスの解消にもなるのではないかと。
- ◇健康についての情報や知識が溢れているので、それをどう実践し、継続させるかが重要だと思います。
- ◇仕事をもち、外に出て交流をす
- ◇高齢者として自立性を持つことが大切で、若いものに負けないという意気込みが必要なのは、お年寄りや障害者が若者と交流できるような公共の施設を増やしていただきたいと思えます。
- ◇機能年齢に応じた仕事を見つけていくことが生きがいに繋がっていくように思えます。
- ◇若い時から若い人との交流の素地をつくっておくべきです。

生きがいで豊かな生活を

何が生きがいかは、個人によって違うものですが、これを持てるかどうかはお年寄りだけでなく、全ての人間にとって重要な問題でしょう。今後は、平均寿命の伸び、労働時間が増えることにより、自由時間が充ちた生活ができることも大切ではないでしょうか。



まだまだ若いモンには負けンゾ

初め浄水場として作られた場所です。鉄管を引いた道は、水道道として現在も愛称されています。パーマーは、その後、大棧橋など横浜港の築港工事、横浜ドックの設計などを行なったほか天文、測量やロンドン・タイムズの通信員など広い分野で活躍しましたが、惜しくも横浜築港の最中急逝しました。

野毛山公園の地は、かつて横浜の二天巨砲茂木惣兵衛と原善三郎が競って豪邸を構えたところでもあり、園内には葬末の儒者・佐久間象山の碑もありました。また一つ見どころが増えた野毛山公園、パーマーの像の近くにある展望台に登って港方面を望みながら、先人たちのしるみでみてはいかがでしょうか。

グループで暮らしに身近な施設の見学を 昭和62年度施設見学会団体募集

▶施設見学を希望する団体は往復ノガキに団体名、代表者の住所・氏名・電話番号を記入して4月30日(木)までに西区役所区民相談室(〒220西区中央1-5-10)へ申し込んでください。▶昨年度の実施団体は対象としません。▶市及び環境施設見学会の見学場所、日程等は参加団体と相談のうえ決定します。▶希望が多いときは公開抽選します。▶個人対象の施設見学会(今年中に4回実施予定)については、その都度広報西区版で募集します。

種別	時期	人員
水道施設	6月中旬	50人
市の施設	未定	50人
環境施設	未定	50人



大正時代に創設された西谷浄水場

いつでもどこでも安全で良い水が欲しいという人々の願いは、パーマーが設計した近代水道の施設によって実現しました。その他にも、ごみ焼却工場や下水処理場など、快適な生活は施設などによって支えられています。



近代水道の父 パーマー